

京都大学
学術情報メディアセンター
教授

岡部 寿男

大学業務のアウトソースと セキュリティポリシー・個人情報保護

- 商用クラウドあるいはXaaS利用時の課題
 - 学内データ・情報の外部流出に対する懸念
 - 個人情報保護法との整合
- セキュリティポリシー
 - 高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集での対応
 - A3111外部委託における情報セキュリティ対策実施手順
 - A3113外部委託における情報セキュリティ対策に関する評価手順
 - 京都大学全学情報システム利用規則
 - 「特定部局情報システム」の「統合認証システムへの接続」
- 学認(学術認証フェデレーション)における個人情報保護の取り組み
 - ePTIDによる仮名化
 - uApprove:属性の開示の際のIdP側での本人同意
 - さまざまな契約モデルへの対応
 - 外部委託か単なる情報提供か？

国立情報学研究所・学術情報基盤オープンフォーラム
「大学等の商用クラウドサービス利用に関するセキュリティポリシーを考える」
平成23年6月3日(金) 岡部寿男(京都大学)

(全学的)メールサービスのアウトソース

- 内部で運営する
 - 運転管理業務委託
- 外部にアウトソースする
 - 業者との契約形態
 - 相対契約(有料)
 - 約款による契約
 - 有料／**無料**
- 無料サービスのリスク
 - 障害などで実害が発生しても、損害賠償の請求が事実上不可能
 - サービス提供業者のビジネスモデルによっては、約款上メールの内部情報をビジネスに利用される懸念
 - 準拠法および管轄裁判所に注意